

報告等に対する質疑への回答

○総務常任委員会

問 一般会計補正予算(第5号)の歳出、「旧ギャラリー東松山」跡地をめぐる問題に関連して、駅東側の通りについてもう少し詳細に説明して欲しい。跡地のすぐ脇が畳5～6枚ほどの空き地になって舗装されているが、あの地域はどのようになっているのか。その部分がどうしてぽっかり空き地になっているのか。

答 【弁護士委託事業】の旧「ギャラリー東松山」跡地をめぐる「訴えの提起」は今年の3月議会上に上程された問題です。建物は(株)エストレックに売却しましたが、駅前道路の拡幅をしており、それを考慮して土地は賃貸で貸す契約になっていました。ところが、土地の賃貸料に未払いが発生したため、市は、昨年、未払い分と市の土地にかかる建物の一部の撤去を求めて提訴しました。現在、建物は撤去されていますが、裁判の決着はついておらず係争中です。

道路の前の部分が空き地になっているのは、道路の拡幅とそれに伴う歩道整備が途中であるということでご理解ください。

○厚生文教常任委員会

問 市民病院の地域病院としての役割と中期的展望について伺いたい。

答 医師確保については、市長自ら先頭に立ち、大学病院等にお願いにあがっており、3月末時点では医師14名であったが、6月からは16名になる。救急医療については、外科の医師にも宿直をお願いすることで改善をしていく。

救急搬送は、昨年700件近くを受け入れた。日曜日のみ受け入れている現在の状況から今後は順次、土曜日、平日の夜間等も受け入れていく予定である。

救急医療は市民の要望が多いので、市長をはじめ頑張っている。

中期的展望として、現在の市民病院の体制を維持し、本館改築事業を7億円かけ実施していく。なお、病院事業収支は昨年10月頃から新改革プランの収益目標を達成している。

○経済建設常任委員会

問 エコタウン事業に多額の予算がついているが、回収することができるのか。

答 東松山市自体の皆様市民からの税金を直接使うわけではありません。

問 そうはいつても、国や県のお金も税金であるが。

答 確かにその通りです。しかしながら、この取り組みは、「単純にいくらいくら投

資したからその分を取り戻す」といったものではないので、ご理解していただきたい。

問 では、具体的に分かりやすく説明してほしい。

答 この東松山のエコタウン化事業は、埼玉県の中なかでも本庄市との二箇所選定され、県内でも、そして国でも模範となるような街を造り、それを近隣に、そして国全体に広めていこうとする事業です。具体的には、ヘムス機器を各家庭に、各戸負担なしで据え付けることにより、家庭の電気使用について、どこが普段無駄に使っているかをデジタル数字でわかるようになっており、それで節電、省電を学ぶことができます。また、ソーラーパネルを各家々の屋根に載せて太陽光発電することにより創電をすることで、各々の家の電気を賄うほかに、余った分を売電することで将来にわたっては、家計にも大変ありがたいものになっていくといった利点もあります。

また、設置規模 4kW で設置費用が 155 万円としますと、売電収入 (38 円/kW) + 自家消費による電気料金節約分 (27 円/kW) が年間 15 万円程度、補助金 国 8 万円 県 40 万円、市 7 万円で合計 55 万円、155 万円 (設置費用) - 55 万円 (補助金) = 100 万円 (自己負担) となり、自己負担分は、100 万円 ÷ 15 万円 = 6.7 年、よって 6 年程度で費用回収と試算できます。

こうしたことは、個々のレベルや公共の電波等を通じて、色々な場面で省エネ等の啓発運動に有意義に働いていくことが期待されるのでご理解ください。

問 東松山市農業公社の機能強化について、是非進めてもらいたい。昨年も質問・要望をした。国のほうが TPP に交渉参加になって、実は私も事業をやっているから賛成だけれども農業が聖域で今まで通り守ってほしいとか言ってる。私は結論的には、JA とかが国内で選挙で自民党に頼っているが、今度は国際的な問題だから 10~15 年でコメも (関税) 撤廃しなければならない。逆に今までの農業者 農業政策は、温室に育ったドラ息子で補助金、補助金頼みで、牛を使っていたのが、トラクターになっただけで、全然改革がされていない。この地域の農業は全然改革がされていない。正直これは産業ではない。だから、後継ぎも出来ない。輸出振興とかいっても今より高かったら輸出なんか出来ない。今後は農業は、集約化して大規模化しないとやっていけないと思う。それと米は輸出できないですよ。国がいくら頑張っても地方の JA なり役所が農地集約に協力しないと末端ではまとまらない。集約した農家を誰がやるかと言えば、工業団地にある 100 社の企業に頼むという事も必要。農地がまとまって工業団地内の企業に農業進出しませんか? という呼びかけをしていけば参画する企業もあると思う。農業者にはアイデアがない。企業は、事業を伸ばすアイデアやノウハウを知っている。補助金無くても生き延びるスキルがある。市としてそうした提案を企業にすることはどうか?

答 農業に従事されているという事で現在の農業問題について切実なる思いや要望

をお話頂いたと思います。ただ今頂いた TPP の問題等は正直いろいろな方がそれぞれいろいろな考えを持っている。スケールの大きな問題ではあるが地方としても声を上げ政府省庁に対して意見書を提出するという事も出来る。

今後、政府の動向をしっかりと見定めながら議会として必要な時に必要な決定をしていければと思います。

問 議員の行政視察は何を目的に行くのか？意味があるのか？

答 先進地の視察などで得た情報から、議員も議会一般質問などで提言をして具体的な事業、施策として立ち上がっているものもあり、森田市政の中でも実際に具体的に事業、制度として立ち上がっているものもあります。

しかしながら、今後は議員各自がより一層有意義な視察とすべく、心構えを新たにして市民の皆さんに有益な還元が出来るよう視察の内容も充実させていきたいと思っています。